

# 目次

発刊のことは

発刊にあたって

例言

## 戸口

### 第一章 戸口の推移……………五

第一節 明治初期……………七

第二節 鉄道開通と製糸業発達期……………八

第三節 第二次大戦前後……………九

第四節 高度経済成長期……………一〇

第五節 旧町村別戸口の推移……………二〇

小野村／川島村／伊那富村(旧辰野町)／

### 第二章 人口の動態と構成……………一四

朝日村

第一節 人口の動態……………一四

人口の自然動態／人口の社会動態

第二節 人口構成……………一七

年齢別人口の構成／産業別就業人口の構成

## 政治

## 第一章 地方自治制度の変遷と

辰野町 ..... 二六

第一節 町村制施行前の制度と村々 ..... 二六

一 伊那県と高遠県 ..... 二六

(一) 小野の戸籍区設置 ..... 二六

小野の天朝御料編入／伊那県の発足と小

野の管下編入／伊那県の戸籍区設置

(二) 上伊那郷の戸籍区設置 ..... 二七

高遠藩の版籍奉還／高遠県の発足と戸籍

区の設定

二 筑摩県から長野県へ ..... 二七

(一) 筑摩県の発足と戸籍区の行政区

移行 ..... 二七

現辰野町地域筑摩県管下となる／名主

組頭廃止と行政区移行

(二) 大区小区制の施行と町村合併の

強行 ..... 二七

筑摩県の大区小区制の施行／筑摩県合併

強行による四か村誕生／筑摩県の施政と

村々の対応

(三) 現長野県の発足と大区や村の動

き ..... 二七

筑摩県廃止と現長野県の成立／大区名称

変更と雨沢村の移管／県会と大区会の開

設／町村誌の編纂

三 地方三新法下の動き ..... 二七

(一) 郡町村制の発足と村会の開設 ..... 二七

上伊那郡の設置／戸長役場の設置と戸長

の公選／村会の開設と住民の動き

(二) 分村と連合戸長役場の設置 ..... 二七

朝日村と三里村の旧村への分離／三連合

村の成立／連合村政の実態

第二節 町村制施行と四か村……………六

一 新しい村の誕生……………六

(一) 町村制の公布……………六

(二) 合併の動き……………六

九か村合併のようす／小野 筑摩地両村  
の合併問題

(三) 村政治の仕組み……………六

村会議員の選出／村三役の選出／事務報  
告／租税の決定／区制の発足

二 各村のあゆみ……………六

小野村／川島村／伊那富村（旧辰野町）  
／朝日村

第三節 新辰野町の誕生とあゆみ……………七

一 新しい辰野町の誕生……………七

(一) 町村合併促進法の施行……………七

(二) 合併の経過……………七

辰野町・朝日村の合併／辰野町 川島村  
の合併／辰野町 小野村の合併

二 辰野町三十年のあゆみ……………六

(一) 合併に伴う主な事業……………六

役場の位置・建設／都市計画街路事業／  
統合中学校の建設／その他

(二) 辰野町の町政……………六

合併直後の町政／昭和四十年代の町政／  
昭和五十年代の町政／昭和六十年代の町  
政

第四節 選挙制度の変遷……………六

一 町村制下の村会 郡会議員選挙……………六

(一) 村会議員選挙……………六

(二) 郡会議員選挙……………六

二 府県制下の県会議員選挙……………六

三 戦前の国会議員選挙……………六

(一) 衆議院議員選挙……………六

(二) 貴族院議員選挙……………六

四 上伊那の普通選挙実施要求運動……………六

五 戦後の選挙制度と辰野町……………六

(一) 戦後初の衆議院議員選挙……………	六	(三) 町村合併前の財政……………	一六
(二) 参議院議員選挙……………	九	(四) 町村合併後の財政……………	三〇
(三) 公選知事と町村長選挙……………	九	第二章 治安……………	三
知事選挙／町村長選挙……………		第一節 警察……………	三
(四) 県会議員選挙……………	一〇	一 警察の制度や組織の進展……………	三
(五) 町村会議員選挙……………	一〇	(一) 明治前期の警察のようす……………	三
六 旧町村以来の歴代三役 正副議長 一覽……………	一〇五	(二) 伊那富分署の設置……………	三三
第五節 財政……………	二七	(三) 岡谷警察署伊那富警部補派出所 の設置……………	三五
一 税 制……………	二七	(四) 伊那富警察署の設置……………	三六
(一) 地租の改正……………	二七	警廃事件／伊那富警察署の開庁／庁舎の 新築……………	三六
(二) 課 税……………	二九	(五) 国家地方警察と自治体辰野警察 署の分離……………	三九
明治初期／町村制実施後／地租割の修 正／戦時中の課税／戦後の税制……………		(六) 辰野警察署と署名変更……………	四〇
二 財 政……………	三三	国家地方警察／自治体辰野警察……………	三九
(一) 明治期の財政……………	三三	二 警察活動の姿……………	四一
明治初期の財政／町村制施行後の財政……………			
(二) 大正 昭和終戦までの財政……………	三六		

第二節 裁判所 登記所……………一四四

一 裁判所……………一四四

二 登記所……………一四四

第三節 消 防……………一四七

一 明治期における消防……………一四七

私設義勇消防組の結成／消防規則公布と

公認消防組

二 大正 昭和初期の消防……………一五〇

一村一組の消防組に統合

三 戦時下の警防団……………一五五

四 自治体消防の発足……………一五五

五 広域消防の発足……………一五五

六 辰野町における災害年表……………一五五

第四節 交通安全……………一五七

一 交通をとりまく諸問題……………一五七

二 辰野町における交通事故の実態……………一五九

三 交通安全対策……………一六三

(一) 交通安全推進協議会……………一六三

(二) 交通安全協会……………一六四

辰野交通安全少年団／交通安全母親クラブ／

辰野ヤングドライバークラブ(Y D

C)／辰野レディーズドライバークラブ

(L D C)

(三) 交通安全子ども自転車クラブ……………一六六

四 今後の課題……………一六七

道路交通環境の整備／交通安全施設の整

備／交通安全思想の普及と徹底

第三章 兵 事……………一六九

第一節 兵役制度と戦争……………一六九

一 徴兵令と国民皆兵……………一六九

徴兵令／徴兵検査

二 各戦争と辰野町……………一七三

日清 日露戦争／満州事変 日中戦争／

太平洋戦争

第二節 戦時中の諸団体の活動……………一七六

在郷軍人会／国防婦人会／大政翼賛会／

第三節 戦没者と慰霊	一八
------------	----

村葬／忠魂碑等／遺族会

## 第四章 海外移民

第一節 明治以後の海外移住	一五
---------------	----

一 長野県人の海外移民	一五
-------------	----

二 現辰野町地域からの海外移民	一七
-----------------	----

## 第二節 満蒙開拓団と満蒙開拓青少年義勇軍

一 満州移民の事情	一八
-----------	----

二 満州開拓につくした現辰野町地域の人々	一九
----------------------	----

(一) 黒台信濃村開拓団	一九
--------------	----

(二) 南陽伊那富開拓団	二一
--------------	----

(三) 太平溝富貴原開拓団	二五
---------------	----

三 満蒙開拓青少年義勇軍	二五
--------------	----

四 厚生と慰霊	二六
---------	----

## 第五章 保健衛生

第一節 衛生行政の沿革	一九
-------------	----

第二節 公衆衛生	二〇
----------	----

一 伝染病予防	二〇
---------	----

コレラ／赤痢／トラホーム(トラコーマ)  
／流行性感冒／疱疹(天然痘)／結核

二 成人病対策	二〇
---------	----

三 母子衛生	二〇
--------	----

第三節 環境衛生	二〇
----------	----

一 上水道	二〇
-------	----

二 下水道	二一
-------	----

三 し尿処理	二一
--------	----

四 じんかい処理	二二
----------	----

五 公害対策	二四
--------	----

第四節 医療機関	二五
----------	----

国民健康保険／開業医院／歯科医院／診療所／両小野国保病院／辰野総合病院

第六章 社会福祉……………三〇〇

第一節 公的扶助 福祉……………三〇〇

一 戦前までの制度と実態……………三〇〇

(一) 明治期……………三〇〇

(二) 大正期……………三〇三

(三) 昭和戦前期……………三〇四

二 戦後の制度と実態……………三〇五

(一) 社会福祉……………三〇五

民生委員／辰野町社会福祉協議会／辰野

(二) 社会保障……………三〇六

国民年金／国民健康保険

第二節 保育所 児童館……………三〇九

一 辰野町における保育所の発祥……………三〇九

一 公立保育所と児童館……………三〇〇

(一) 設置の準拠法……………三〇〇

保育所／児童館

(二) 町内保育所 児童館の設立……………三〇三

(三) 町立保育所の経営……………三〇三

産業経済

第一章 農林水産業……………三〇七

第一節 農 業……………三〇七

一 明治以降の農業……………三〇七

(一) 横川川流域の稲作……………三〇七

(二) 天竜川西岸地域の稲作……………三〇六

原田井 中井 下井／天竜西井筋(伝兵衛堰)／西天竜幹線水路

(三) 天竜川東岸流域の稲作……………三〇五

(四) 畑 作……………三〇六

(五) 養蚕及び蚕種製造……………三〇三

	初期の養蚕／養蚕技術の進歩／蚕種製造 ／昭和恐慌下の養蚕業	
二	戦時下の農業	二七〇
	戦時下の食糧増産／戦後の食糧難	
三	戦後の農業	二七四
(一)	農地改革	二七四
(二)	土地改良と圃場整備	二七七
(三)	稲作技術の進歩	二八四
(四)	機械化農業	二八七
(五)	畑作経営の近代化	二九一
	果樹栽培／酪農／出荷野菜と施設園芸／ 養蚕	
(六)	農家経営の変遷	二九六
第二節	林業	三〇七
一	山林原野とその利用	三〇七
二	入会林野の変遷	三〇八
三	林業の発達	三三三
(一)	横川山の薪炭	三三三
(二)	製材業の発達	三三三
(三)	植林の普及	三四四
四	戦後の林業	三五五
(一)	村や町の山づくり	三五五
(二)	木材需要の減退	三八八
(三)	林業振興の施策	三九九
第三節	漁業	三三三
一	河川の漁業	三三三
二	養殖漁業	三四四
第二章	工業	三九九
第一節	製糸業	三三〇
一	明治年間の製糸業	三三〇
	明治初年の状態／製糸業の普及	
二	全盛期の製糸業	三三六
	製糸全盛時代／組合製糸時代	
三	経済不況と製糸業	三四三
	製糸景気の後退／製糸技術の改良／製糸 業界の統合整理	



第二節 現代の工業……………三三七

一 機械工業……………三三九

石川島汎用機械株式会社／その他の機械

工業

二 光学工業……………三三三

三 電子工業……………三三四

第三節 その他の工業……………三五六

一 食品工業……………三五六

酒造業／味噌 醬油醸造業／製菓／寒天

二 木材加工業……………三五四

木工 製材／その他の木工業

三 その他……………三五六

印刷 製本業／窯業／その他の工業

四 電力……………三七〇

五 鉱業……………三七三

(一) マンガン鉱……………三七三

唐木沢マンガン鉱山／上辰野地籍のマン

ガン鉱／浜横川鉱山／その他のマンガン

鉱山

(一) 珪酸鉱 金銀鉱……………三七六

(二) 硯石……………三七六

(四) 土建用石材……………三七六

第三章 商業と金融……………三六〇

第一節 商業……………三六〇

一 明治初年の商業と流通……………三六〇

二 商人と村人……………三六三

三 辰野駅開設ごろの下辰野商店街……………三六九

四 統制経済下の商業……………三三九

五 辰野町商工会の設立……………三五五

六 商業の現況……………三五六

サービスマシンの統合／量販店の出現

第二節 金融……………四〇三

一 明治初期の金融……………四〇三

二 銀行の設立と庶民金融機関……………四〇四

銀行の設立／貯蓄と庶民金融機関／銀行の統合

経済復興と金融機関／公益質屋／大衆化した金融機関

三 現代の金融……………四〇七

## 交通通信

第二章 交通運輸……………四四五

第二節 天竜川上流の通船……………四六六

第一節 街道による交通……………四六六

明治初期の通船／中央線開通と通船の企て

一 明治の街道……………四六六

二 街道筋の交通運輸……………四六九

明治初期の運輸政策／物資の運輸／人の往来／荷車

第三節 辰野駅を中心とした交通……………四七〇

一 中央線開通と辰野駅……………四七〇

往来／荷車

(一) 辰野駅……………四七六

三 交通機関の発達と街道の改修……………四七五

(二) 駅路の開設……………四七三

(一) 道路の改修……………四七五

(二) 小野駅……………四七三

三州街道(伊那街道)／岡谷街道

二 伊那電気鉄道……………四七四

(二) 運送馬車の発達……………四七〇

(一) 伊那谷住民の願い……………四七四

(三) 新しい乗物……………四七三

(二) 伊那電気鉄道の開通……………四七五

人力車／乗合馬車／立場

(三) 開通当時の状況……………四七六

三 盛んになった運送業	四八	一 自動車交通の発達と道路・橋梁の整備	四三
四 飯田線	四九	(一) 主要幹線道路の整備	四三
(一) 中央線との接続	四九	国道一五三号線の改修／主要県道の改修	四三
(二) 国鉄移管	五一	(二) 生活道路の整備	四五
(三) 合理化対策	五三	一般道路／峠道	四五
五 道路交通機関の発達	五四	(一) 橋梁の改修	四八
(一) 辰野における自動車の普及	五四	(二) 中央自動車道の開通	四八
(二) バス交通	五五	(一) 開通までの経緯	四八
バス路線の拡大／みずず急行バス／バス路線の改廃と運行の合理化	五五	(二) 中央道開通に伴う影響	四六
(三) トラック輸送	五二	三 塩嶺トンネルの開通	四八
トラック輸送の開始と運送業の変遷／トラック輸送の現況	五二	四 国鉄民営化	四九
(四) タクシー	五五	第二章 通信・報道	四九
(五) 自家用車の激増	五六	第一節 郵便	四九
(六) 自転車の普及	五六	一 郵便局の発達	四九
六 信濃川島駅	五九	二 郵便業務の変遷	四九
第四節 現代の交通	五七	郵便料金の変遷／郵便物取扱枚数の推移	四九

## 集 落

## 第一章 辰野町の集落…………… 五三

## 第一節 明治初期の集落…………… 五三

自然と集落／街道と集落

## 第二節 集落の変遷…………… 五五

鉄道開通と集落／戦後の都市計画／過疎

## 第二章 地域の集落…………… 五七

第一節 憑たのめの里小野地区…………… 五七明治初期の小野の集落／製糸業と駅前集  
落の発達／山村集落の推移／新興住宅団  
地の造成

## 第二節 谷あいの村川島地区…………… 五五

## 三 郵便線路と通送の変遷…………… 五二

郵便区の集配／鉄道郵便辰野分局

## 四 郵政業務の現況…………… 五六

## 第二節 電信 電話…………… 五七

## 一 電 信…………… 五七

## 二 電 話…………… 五九

## 第三節 新 聞…………… 五三

## 一 新聞の発達…………… 五三

## 二 町 内 紙…………… 五三

## 辰野朝日新聞／辰野日報／たつの新聞

## 三 新聞の購読…………… 五五

## 第四節 ラジオ テレビ…………… 五六

## 一 ラ ジ オ…………… 五六

ラジオ放送の発達／ラジオの普及

## 二 テ レ ビ…………… 五八

テレビ放送の発達／テレビの普及／有線  
テレビ

## 第五節 有線放送と通話…………… 五三

横川谷の集落／地形と集落／資源と集

落／生活圏の拡大／過疎化集落

第三節 伊那街道に沿った中部地区 …… 五三

街村集落とその変遷／小横川の集落

第四節 町政の中心地となった宮木

地区 …… 五六

明治初期の宮木／工業地区の発展／住宅

地区の拡大／町の中心としての発展

第五節 発展する南部地区 …… 五四

新町 神戸／北大出 羽場／中央自動車

道の開通／伊北インター チェンジ付近

／北沢工業団地

## 教 育

第一章 学校教育 …… 五一

第一節 明治初期の教育 …… 五一

一 寺子屋から郷学校へ …… 五一

(一) 明治維新の寺子屋 …… 五一

第六節 沢底川の流域と荒神山周辺 …… 五九

沢底（沢底・鴻の田 岩花）／樋口（樋

口 山際 万五郎 下田）／土地開発と

集落／荒神山の開発／中山周辺の土地利

用／上の原団地

第七節 都市化された平出地区 …… 五七

明治期の平出／鉄道開通の影響／都市計

画による平出の発展／上平出と上野

第八節 鉄道開通で変わった辰野地 …… 五二

区 …… 五二

上辰野とその発展／下辰野と駅前集落／

駅前道路の現況

(二) 時 習 館 …… 五三

二 学制頒布と小学校の創設 …… 五三

(一) 学制頒布と筑摩県の対応 …… 五三

(二) 各村の学校設置への動き …… 五九

三 就学の普及……………	五八	三 自由主義の教育……………	六〇
第二節 明治中・後期の学校教育……………	六一	四 経済恐慌と教育……………	六三
一 義務制による学校教育の拡充……………	六一	五 郷土研究と教育……………	六六
(一) 村立学校の設立……………	六一	(一) 郷土研究の起り……………	六六
(二) 各村の小学校の状況……………	六三	(二) 郷土研究と教育……………	六七
小野村／川島村／伊那富村／朝日村／明 治中期の学校生活……………	六三	第四節 戦時下の教育……………	六三
二 実業補習学校の起り……………	六五	一 国民学校の発足と戦時教育……………	六三
小野実業補習学校／伊那富農工補習学 校／朝日実業補習学校／川島実業補習学 校……………	六五	二 青年訓練所……………	六四
三 中等教育の普及……………	六八	三 青年学校……………	六五
(一) 上級学校進学の状況……………	六八	四 戦時下の学校……………	六六
(二) 伊北農商学校……………	六三	(一) 勤勞奉仕……………	六六
(三) 村立伊那富実科高等女学校……………	六三	(二) 義勇軍……………	六七
第三節 大正 昭和初期の学校……………	六六	(三) 学童疎開……………	六八
一 国家主義の教育……………	六六	第五節 戦後の教育……………	六三
二 製糸工女の教育……………	六九	一 新学制の発足……………	六三
		二 PTAの誕生……………	六三
		三 教育委員会制度……………	六四

四 独立中学校の建設…………… 六七

辰野中学校／組合立両小野小中学校

五 分教場の統合とスクールバス…………… 六三

六 教育費と学校施設…………… 六五

七 各種教育機関とその関係…………… 六六

八 高校進学 の普及…………… 六八

九 信州豊南女子短期大学…………… 七〇

第六節 小 中学校沿革概要…………… 七三

両小野小学校／川島小学校／辰野西小学

校／辰野南小学校／辰野東小学校／辰野

中学校／両小野中学校

第二章 社会教育…………… 七〇

第一節 初期の社会教育…………… 七〇

一 青年会…………… 六一

二 女子青年会…………… 六四

三 婦人会…………… 六五

四 図書館…………… 六七

第二節 戦後の社会教育…………… 六九

一 初期の公民館と活動…………… 六九

二 合併後の辰野町公民館…………… 六六

(一) 公民館の組織…………… 六六

(二) 各部 関係団体の活動…………… 六九

文化部の活動／社会部の活動／視聴覚部

の活動／体育部の活動／産業部の活動／

婦人会／青年会／関係諸団体

三 社会教育課の事業…………… 七三

機構／公民館関係の事業／社会同和教育

／青少年健全育成

四 社会教育関係施設…………… 七四

(一) フィルムライブラリー南信支所…………… 七四

視聴覚教育のあゆみ／ナトコ映画／フィ

ルムライブラリー南信支所

(二) 辰野町の図書館…………… 七六

小野図書館／辰野図書館

(三) 辰野町郷土美術館…………… 七〇

(四) スポーツ施設と活用…………… 七三

## 施設の建設／学校施設の開放

(四) 辰野町民会館……………七五

五 文化財保護……………七四

## 学芸

第一章 文芸……………七三

第一節 短歌……………七三

一 新しい歌……………七三

二 新しい歌を指導した人々……………七三

(一) 松井芒人……………七三

(二) 歌誌『流域』と指導した人たち……………七三

(三) アララギ系歌人……………七三

(四) 折口信夫(釋道空)と教えを受け  
た人々……………七三

(五) 国民文学派系の歌人……………七三

(六) 潮音系の歌人……………七三

三 歌会……………七三

(一) 保護の歴史……………七四

(二) 指定文化財一覧……………七三

第二節 俳句……………七三

一 明治期の俳壇……………七三

(一) 俳壇の状況……………七三

(二) 地方句誌に見られる俳人……………七三

(三) 活躍した俳人……………七三

二 大正から昭和における俳壇……………七三

(一) 花月会……………七三

(二) 如月会……………七三

(三) 伊北の俳誌「よもぎ」……………七三

(四) 活躍した俳人……………七三

三 戦後の俳壇……………七三

(一) よもぎ社……………七三



	(一) 公民館における俳句教室……………	七六
	四 辰野町の俳額一覧……………	七九
	第三節 郷土の出版物と詩歌……………	八二
	一 小説 童話 民話等……………	八二
	二 随想 研究 画集等……………	八三
	三 詩歌 集……………	八四
	四 校歌 郷土の歌……………	八五
	五 郷土史研究 記録 記念誌等……………	八六
	六 学校沿革誌等……………	八七
	第二章 美術 工芸……………	九四
	第一節 当地における美術 工芸……………	九四
	美術 工芸を支える風土／建築 彫刻に おける特色／日本画における先人の業 績／中川紀元の影響／大森光彦の陶芸／ 辰野町郷土美術館／辰野美術会／信州美 術会・伊那美術協会での活動	
第二節 日本画……………		九九
	一 江戸末期から明治へ……………	九九
	二 荒木塾に学んだ画家……………	一〇〇
	三 秀畝に師事した画家……………	一〇四
	四 その他の画家……………	一〇五
	第三節 洋画……………	一〇七
	一 中川紀元……………	一〇八
	(一) 紀元のフォービスム……………	一〇八
	(二) 紀元の芸術の進展……………	一〇〇
	二 郷土で活躍した人々……………	一〇三
	三 現代の洋画……………	一〇四
	第四節 彫刻……………	一〇六
	一 主な作家と作品……………	一〇六
	(一) 中村清之丞から始まる彫刻の流れ……………	一〇六
	(二) 瀬戸團治と近代彫刻の流れ……………	一〇三
	(三) その他の作家……………	一〇三
	二 上伊那彫塑講習会……………	一〇四
第五節 建築……………		一〇四

一 社寺建築	八五	書道教室／各種書道展	八五
(一) 中村清之丞一族による社寺建築	八五	第八節 当地を訪れた芸術家たち	八五
(二) 大隅流による社寺建築	八七	第三章 その他の芸道	八五
(三) 立川流の流れを汲む神明神社舞台	八九	第一節 華道 茶道	八五
二 その他の建築物	八九	華道／茶道	
第六節 工 芸	八三	第二節 音楽 諸芸	八四
一 陶 芸	八三	音楽／芸能協会／その他	
赤羽焼／大森光彦／現在の陶芸		第四章 体 育	八七
二 硯	八五	第一節 武 道	八七
龍溪硯／人工硯		一 柔 道	八七
龍溪硯／人工硯		戦前の柔道／戦後の柔道	
第七節 書 道	八六	二 剣 道	八八
一 書道の変遷	八六	戦前の剣道／戦後の剣道	
(一) 寺子屋師匠の書	八六	三 空 手	八八
(二) 碑文や幟に見える書	八八	四 弓 道	八八
碑文の書／幟に見られる書		第二節 近代スポーツ	八六
(三) 習字教育	八八		
(四) 書道と生活の書	八七		
二 現代書道	八九		

一 野 球	八六
二 ソフトボール	八三
三 バレーボール	八三
四 バスケットボール	八五
五 テニス	八五

## 宗 教

第一章 宗教の変遷	八三
-----------	----

第一節 明治の宗教政策	八三
-------------	----

神仏分離令と廃仏毀釈／神道の国教化／  
社格の制／神社の合併

第二節 第二次大戦と皇国思想	八七
----------------	----

時代の推移と神道／戦時下諸教団の動き

第三節 新憲法下の宗教	八六
-------------	----

敗戦の混乱と宗教／信教の自由

第二章 神 社	八九
---------	----

六 卓 球	八六
-------	----

七 陸上競技	八七
--------	----

八 スケート	八六
--------	----

九 登 山	八九
-------	----

第一節 神社や神事の推移	八九
--------------	----

祭礼／神社の管理 運営／祭神

第二節 町内神社一覽	八九
------------	----

第三節 主なる祭事	九六
-----------	----

一 例 祭	九六
-------	----

(一) 年間神事	九六
----------	----

(二) 特殊神事	九七
----------	----

天狗と獅子／御筒粥の神事／湯立ての神

事／神仏混淆の祭礼／御射山神事／憑

祭／正遷宮祭／御輿渡御の祭り／山の

神の祭

## 二 御柱祭……………九二

## (一) 御柱神事……………九二

見立て／斧入れ／木場出し／綱繰り／御幣づくり／山出し／里曳き／冠落し／建御柱／根固祭／報告祭

## (二) 小野御柱祭……………九五

## (三) 横川御柱祭……………九六

## (四) 伊那御柱祭……………九七

宮木諏訪神社／三輪神社／法性神社

## (五) 小宮の御柱祭……………九〇

## (六) 御柱祭の余興……………九三

奉納長持ち／木遣り／騎馬行列／屋台

## 観光

## 第一章 観光の移り変わり……………九三

## 第一節 名勝 旧跡……………九三

## 第二節 公園等の建設……………九六

(山車)／笠踊り 手踊り 獅子舞

## 第三章 寺院……………九五

## 第一節 寺院や仏事の推移……………九五

## 第二節 町内寺院一覧……………九二

## 第三節 堂や庵……………九六

## 第四章 近現代の宗教……………九四

## 第五章 民間信仰……………九八

庚申(かのえさる)の信仰／富士浅間講  
／甲子(きのえね)信仰／祝殿

## 第二章 観光開発……………九七

## 第一節 辰野のほたる……………九七

ほたる保護の歴史／ほたる祭り

第二節 しだれ栗森林公園とその周

辺……………九七六

しだれ栗森林公園など／憑たのめの里とその周

辺

第三節 荒神山スポーツ公園……………九七八

民俗

第一章 年中行事……………九八〇

第一節 昔から現在まで続けられて

いる行事……………九八〇

第二節 戦後に姿を消した行事……………九八四

第三節 戦後新しく生まれた行事……………九八六

第二章 人の一生……………一〇〇一

第一節 誕生……………一〇〇一

一 妊 娠……………一〇〇二

帯祝／懐妊中の禁忌

開発の経過／主な施設と利用状況

第四節 横川峡と横川ダム……………九八二

横川峡／横川ダム

第五節 これからの観光……………九八四

二 出 産……………一〇〇四

出産場所／取り上げ／臍の緒／後産／産

見舞

三 産児の祝……………一〇〇五

三日祝 お七夜の祝／命名／お宮詣／食

い初め

第二節 幼 年 期……………一〇〇六

誕生祝／初節句／帯結 七五三祝／入学

祝

第三節 成 人 式……………一〇〇八

第四節 婚 姻……………一〇〇九

一 結婚式まで……………	100	六 葬 式……………	103
仲人／酒入れ 結納／荷入れ		門牌／義理受け／葬式／葬列／埋葬／精進落し／翌日以後	
二 結婚式 披露宴……………	101	七 年 忌……………	105
三 結婚式以後……………	103	八 神 葬 祭……………	105
第五節 壮 老年期……………	103	葬祭前／棺前祭／埋葬祭／帰家祭／霊祭	
一 厄 除……………	102	第三章 衣・食・住……………	106
二 年 祝……………	104	第一節 衣 服……………	106
三 敬老 会……………	105	一 戦前の衣生活……………	106
四 老人クラブ……………	106	自給自足の時代／和服から洋服へ／耐乏の衣料生活	
第六節 葬 送……………	108	二 戦後の衣生活……………	104
一 臨 終……………	108	底を突いた衣料／出回る衣料／制服と礼装	
死に水／通夜		第二節 食 べ も の……………	106
二 納 棺……………	109	一 自給自足の時代……………	106
三 葬儀の手伝い……………	109	節米について／動物蛋白質について／野草などの利用／昔のおおめし食	
帳場／穴掘り／寺方／料理／その他の手伝い			
四 火 葬……………	101		
五 仏壇・葬具の飾りつけ……………	103		

	二 食糧不足の頃……………	一〇四三		核家族の出現／核家族のくらし／家庭生 活の変化……………	一〇九七
	三 配給時代によく使われた用語……………	一〇四三			
	四 現代の食生活……………	一〇四五			
	第三章 住まい……………	一〇五七		第五章 社会生活……………	一〇九七
	一 仕事場としての住まい(昔からの住 まい)……………	一〇五七		第一節 村のくらし……………	一〇九七
	二 住むことを中心にした住居……………	一〇六四		一 村の維持……………	一〇九七
	住宅の改築／新築／洋風化／商店街の住 まい／建材と建築工法／住まいの法律と 税……………	一〇六四		二 講……………	一〇九七
	三 光熱水……………	一〇七五		秋葉講／庚申講……………	一〇九七
	照明／燃料／冷暖房／上水道／下水道			三 近所づきあい……………	一〇九七
				四 新生活運動……………	一〇九七
				第二節 子どものくらし……………	一一〇六
				天神講／遊びと手伝い……………	一一〇六
				第三節 若連の発展……………	一一〇六
	第四章 家のくらし……………	一一〇六			
	第一節 昔の家族……………	一一〇六		第六章 伝承……………	一一〇六
	大家族／ヒジロを中心にしたくらし／食 事／風呂／主人／嫁／主婦／しゅうと	一一〇六		第一節 辰野町の俗信……………	一一〇六
				一 子兆に関する俗諺……………	一一〇六
				(一) 天気に関するもの……………	一一〇六
	第二節 核家族とくらし……………	一一〇六			

(一) 夢見によるもの	二二五
二 忌み禁じられていた習俗の俗諺	二二六
三 まじないの類	二二八
四 雨 乞 い	二二九
第二節 辰野町の説話	二三〇
一 『上伊那誌 民俗篇上』掲載の説話	二三〇
伝説／昔話	
二 『たつの拾い話』の中から	二三三
小野の一本松／天狗にさらわれた話／上	
横川神社の獅子舞／病人窟／山犬の話／	
桂の木によせて／「湯舟」の地名／「小平	
物語」と所載の説話／熊谷種荷の由来／	
守屋山の雨ごい	
第七章 辰野町の方言	二三五
第一節 辰野町の方言の特徴	二三五
第二節 辰野町の方言集	二三六

町誌編纂 刊行委員会関係名簿  
刊行委員会会則  
あとがき